



広報おんな

平成11年2月発行 (No.217) 恩納村 総務課 TEL(098)966-8006

第24代恩納村長に大城英喜氏



青と緑の豊かな活力ある村

村のひと (12月末日)

男	4,862人	(+12)
女	4,650人	(+9)
計	9,512人	(+21)
世帯数	3,184世帯	(+5)

新村長に大城英喜氏が当選 1月25日に当選証書付与式

- ◆比嘉氏県出納長就任祝賀会及び激励会
- ◆新成人の新しい門出を祝う
- ◆むらの話題 當山さん農林水産大臣表彰を受賞 他

第1回 恩納村産業まつり

勢揃い、わった一村の自慢品



'99 2月13日(土)・2月14日(日)

午前11時～午後6時

午前11時～午後6時

場所/恩納村コミュニティセンター広場・恩納漁港広場

主催/恩納村産業まつり実行委員会

共催/恩納村・JAやんばる恩納支所・恩納村商工会・恩納村漁業協同組合・恩納村議会・恩納村区長会・村内観光関連事業所・恩納村老人会・恩納村婦人会・恩納村青年団協議会

お楽しみコーナー

- 恩納村交友、姉妹市町村物産コーナー
- リゾート屋台村
- オープニングセレモニー
- みやらび会
- ディダカンパニーコンサート



歩け歩こう大会参加者募集!

～自然に触れ合いながら、さわやかな汗を流しましょう～

「歩く」というほど気軽に、また楽しく簡単にいつでも実践できる健康法はありません。最近、私達の生活の中から歩くということが急激に少なくなっています。歩け歩こう大会に参加して、自然に触れ合いながらさわやかな汗を流してみませんか。



1. 主催 恩納村教育委員会
2. 日時 平成11年2月21日(日)
午前8時30分 受付
午前9時00分 開会式
3. 集合場所 県民の森資料館前広場
4. コース 県民の森(登山・溪流コース)
喜瀬武原集落内(約8.5キロ)
5. 対象 健康な方ならだれでも参加できます。
6. 持ち物 保険料(20円)・弁当(おにぎり)
水筒・タオル・帽子・雨具等
7. 服装 軽装・運動靴
8. 雨天の場合 小雨なら決行します。大雨等で実施できない場合は中止します。
9. 問い合わせ 村教育委員会 社会教育課
担当(當山) ☎966-8506

比嘉茂政氏を囲んで出納長就任を祝う

祝賀会及び激励会に500名余りが参加



▲会場から頑張ってくださいと激励

昨年十二月四日付けで恩納村長を退職し県出納長に就任した。比嘉茂政氏を囲んで、就任祝賀会及び激励会が十二月二十七日、村コミュニティセンターで五百名余が村内外から参加して比嘉氏の出納長就任を祝いました。

今回の祝賀会は、役場をはじめ商工会、漁業組合、JAやんばる恩納



支所の共催で開催され、主催者を代表して村商工会の仲嶺眞二会長は、「出納長を囲んでこれまでの村政へのお礼を述べる機会をつくり、村出身者の出納長就任を皆でお祝いしよう」とこの会を企画しました。」とあいさつがありました。

また、比嘉氏からは「県三役の一人として基地問題等じっくり構えて精一杯頑張っていきたいと思えます。また、新しく就任する新村長のもと村民が融和をもつて繁栄していくことを村民の一人として希望しております。」とあいさつがありました。

比嘉夫妻が出席して開催された祝賀会では、村文化協会が幕開け演奏や舞踊で花を添え、最後は比嘉氏の今後の活躍と健康、そして村の発展を願って村議会議員の喜納正誠副議長長の万歳三唱で閉会しました。



▲比嘉夫妻から関係者へお礼のあいさつ



▲文化協会からは舞踊で就任を祝う

第24代恩納村長に 大城英喜氏

1月25日に当選証書付与式



▲当選証書付与式



▲初登庁は職員に迎えられて

昨年十二月十四日の比嘉茂政前恩納村長の辞職に伴う村長選挙が一月二十四日に投票、即日開票され、大城英喜氏が当選し第二十四代恩納村長に決まりました。

大城英喜氏は、昭和十二年生まれで、これまで琉米文化会館館長や村議会議員(二期)、村教育長(通産十六年)を経て、平成八年に助役就任、平成十一年同職を退職し今回村長に就任しました。



▲就任式には多くの職員が参加

翌日二十五日には、役場庁舎へ初登庁し職員から花束と拍手で迎えられ、同日行われた当選証書付与式では、村選挙管理委員会の仲村致英委員長から大城氏に当選証書が付与され村長として村民のために働く多忙な業務がはじまりました。

現在村では、役場新庁舎の建設や仲泊内海を埋め立てしての博物館等の建設など事業がすでにスタートしております。来る二月十三日から十四日には、村の冬のまつりと位置付けられ開催される第一回村産業まつりも予定されております。



▲1月25日から村長としての公務がスタート

恩納村は、新村長の元に職員一同村民の皆様によりよい行政サービスを提供できるよう努力しています。

同じく二十五日に職員を前に行われた就任式では職員を前に、大城英喜新村長は「村民の気持ちと期待に応えるよう、歴代の村長が自然と環境を大切に守りながら行政を進めたようにしていきたいと思っています。我が村は観光をはじめ、農業、漁業その他文化、教育等あらゆる分野での発展を願いつつ行政執行に邁進していきたいと思っていますので、皆様のご協力とご指導をお願いします。」と就任のあいさつがありました。

新成人の新しい

平成11年恩納村成人式



▲21世紀をになう恩納村の若者達

新成人おめでとうございます。



▲新成人の皆さんの活躍を期待します。



祝賀会では新成人のカラオケも



▲新たな出発！ガンバって下さい



▲成長した息子とニコリポーズ

祝賀会 **スナッパ**



▲多くのみなさんに祝福を受けました



▲活躍を願って出席者全員で乾杯

い門出を祝う

142名が新成人を迎える



▲新成人の誓いを池原さんが代表して発表



▲村青年団の瀬良垣会長の祝辞

郷土建設の担い手として、新成人を村民を挙げて祝おうと一月四日、平成十一年村成人式がコミュニティセンターで盛大に開催されました。

村成人式は、毎年一月四日に開催され、進学や就職で県外で活躍する成人が郷土への帰省に合わせてこの時期に行なわれ、今年村では、百四十二名がめでたく成人式を迎え、式には百二十名余が参加しました。

式典では、村長職務代理者の助役の式辞や議会議長、青年会

長、から祝辞が送られました。また、成人を代表して恩納区の池原杉乃さんから「手さぐりではあります、諸先輩方のご指導を賜りながら、常に希望を胸に抱き、未来に向かって共に頑張っていきたいと思えます。」と成人への誓いを述べました。

祝賀会では、村青年団協議会が新成人を祝おうと司会進行にあたり、景品を準備したビンゴゲームやカラオケで会を盛り上げてくれました。

会場では、新成人らが久しぶりの再開を喜んで暗れの姿をしきりにカメラのシャッターを切っている光景が多く見られました。

『大人社会の一員として
全力を尽くします』
—新成人の誓いより—

福祉巡回車が寄贈されました。

村社会福祉協議会に昨年12月24日、県生命保険協会から福祉巡回車が寄贈されました。今回の同協会による巡回車は恩納村と西原町の2町村に軽車両が送られました。



寄贈を受けた村社会福祉協議会の瀬良垣寛昭会長からは、村の社会福祉事業で有効に活用していきたいとあいさつがありました。



▲役場玄関前での寄贈式

こんにちは保健婦です。

恩納村福祉・健康まつりが開催されます。

う まん ちゅ する がんじゅうさび
テーマ 御万人揃って健康守ら
スローガン しあわせは、心と体の健康から

「第12回恩納村福祉・健康まつり」が3月7日(日)、村コミュニティセンターで開催されることになりました。

福祉・健康まつりは、子どもから高齢者まで一堂に集まり、ともに語り合い、考え、ふれ合うことによって、『健康づくり』に関する知識を高め「自らの健康は自ら守る」という理念を作り上げ、健康で心豊かな村づくりを形成していくことを目的に実施するものです。

福祉や、年金、国保、保健衛生部門でいろいろなコーナーが設けられますが、特に今回はメインコーナーとして、自然道ウォーキング、骨密度測定、100歳以上の健康な御高齢者を讃える、願寿でーびる賞等の表彰式、さらに親子で楽しく体を動かすスポーツゲームを行います。

普段から健康に気を付けている人、あるいはそうでなかった人もどうぞこの機会にぜひにご来場下さい。きっと今後の健康づくりのよい機会になると思います。

と き：3月7日(日) 午前9時30分～午後4時
 ところ：村コミュニティセンター

◆主催：恩納村

◆共催：恩納村健康づくり推進協議会
 恩納村社会福祉協議会

第12回 恩納村福祉・健康まつり



村民多数のご来場をお待ちしています。

恩納村社会福祉協議会へ

○宮平尚子(那覇市在) 香典返し100,000円
 ○大城 苗(恩納2362) 香典返し100,000円

村寄附基金へ

○大城 苗(恩納2362) 香典返し50,000円

◎各字公民館と個人から	571,641円
◎(株)大興建設から	10,000円
◎老人ホームホーム谷茶の丘から	18,600円
◎個人タクシー山田温泉会から	30,000円
◎トータル介護沖縄から	5,000円
◎恩納村婦人会から	50,000円
◎(有)外間建設から	20,000円
◎前年度繰越金・預金利息	93,207円
合計額	798,448円

平成10年度配当額 691,000円
 次年度歳末へ 107,448円

善意ありがとうございます！ ございます！

12月の歳末たすけあい募金に村内から798,448円が寄せられました。

村民の皆様から寄せられた善意は、一人暮らしや寝たきりのお年寄り、母子家庭等への歳末時期の見舞い金として各世帯に配布されました。

ご協力ありがとうございます。

恩納村社会福祉協議会
 ☎966-8509

女性が発想し「起業」「日豪サービス」を訪問

県女性海外セミナー「女性の翼」研修記 山君子(村農漁村生活研究会)



研究四日目、メルボルンにある「日豪サービス」を訪ねた。緑豊かな公園や庭園、英国風の街並みと基盤の整った整然と納まっている。人口三百万人の大都市はゴシック建築、近代的なビル、色とりどりの花々と訪ねる人を楽しませる雰囲気をももっている。

「ビジネスグループ」は昼食を利用して今のオーストラリアの女性問題、政治、経営文化等を学びあう。「しゃべろう会」は日本人とオーストラリア人でお互いに日本語と英語の勉強、ボランティア活動も実施している。加茂前さんはあいにく所用がありお会いできなかつたが、女性らしいキメ細やかなサービス業務に感動。この日の研修にはこの地で活躍している三人のレディたちとの出会いがあった。

まず最初はシドニーとメルボルンでの生活歴二十年の内藤陽子さん、パートナーは商社マンという。現在は日本との貿易業務やメルボルン市のLady Matesでチャリティー活動を行う。収益金で公、私立病院へ乳がんの早期発見のための機械を寄贈したり、ホームレスビールの支援等を行っている。企業家として天然イオン水を利用してアイスクリープの製品化、また果実やネイティブフルーツを開発、添加物を一切使わないドライフルーツのスパック菓子や輸出販売している。不動産鑑定士の資格をもち、茶道、華道教授として日本の文化交流にも貢献する。

また二人目のレディは洋子さんはSBS放送局のアナウンサーとして週一時間の日本語放送を担当、異民族の混在する国際都市でのそれぞれの国言葉で住む人々への思いやりとも受け取られ感銘した。社会福祉団体としてビクトリア州政府に登録されたホープコネクションを設立、日本人のオーストラリアでの生活を快適にするためのサポートを行っている。ニュースレターを四回発行し、お互いの情報交換に役立っている。

『元旦にいい汗を!!』をスローガンに 平成11年塩屋区新春マラソン

塩屋区で毎年恒例の新春マラソン大会(塩屋体協主催)が元旦の1月1日に開催されました。

大会では、2キロの部と5キロの部で競われ下は0歳から上は80歳まで県内・県外を含め総勢百五十名のランナーが元旦にいい汗を流しました。

成績は下のとおり。

<2キロの部>

小学低学年の部(男子)	1位	吉山 盛之進	10'19
“(女子)	1位	玉城 あや	11'02
小学高学年の部(男子)	1位	市原 伸吾	8'19
“(女子)	1位	宮平 絵里加	9'22
中学生の部(男子)	1位	長浜 亮太	7'03
壮年の部(男子)	1位	屋宜 盛善	8'12
高校生以上の部(女子)	1位	吉山 由美子	9'57

<5キロの部>

一般の部(男子)	1位	前原 直輝	16'58
“(女子)	1位	大出 民江	29'44
壮年の部(40歳以上)	1位	吉山 盛次郎	18'54

→小学低学年の部で1位の吉山君(写真右)



←おばあちゃんも孫と一緒に頑張りました。



▲3町村の団員30名も出初式に参加



▲自慢の山いもを前に山芋王国の皆さん

平成十一年金武地区消防衛生組合の出初式が一月六日、金武地区消防本部で地区内の幼年消防クラブ、関係者が多数参加して開催されました。

出初式では、機械器具等の特別点検や消防職員、団員約五十名による訓練礼式や事故と火災を想定した展示訓練も行なわれました。

展示訓練では、十一月から運用が開始された救急救命士らにより交通事故を想定した救急シ

展示訓練で救急救命措置も実地 平成十一年消防出初式

ユミレーションも行なわれ、高規格救急自動車を使い医師の指示をうけながらの救急救命措置と、隊員並びに団員による家屋火災の消化活動訓練も行なわれました。

仲間消防長は、答辞のなかで消防職員、団員共々を引き締めて金武地区内の安全衛生を今年も精一杯努力していきますと出席した関係者に力強く新年の決意を述べました。



▲幼年消防クラブの子ども達も参加

1月号「むらの話題」で婦人演芸のつどいの写真説明がまちがえていましたのでお詫びして訂正致します。

(誤) 谷茶老人会の黒島チンボーラ → (正) 谷茶婦人会の黒島チンボーラ



▲消防職員による救急シュミレーション

山いもスーブで喜納正誠さんが一位 第五回山いもスーブ(塩屋区)

塩屋山いも王国(塩屋区)主催による「山いもスーブ」が、十二月二十日塩屋区公民館広場にて開催されました。

小雨混じりのあいにくの天候ではありましたが、熱気あふれる塩屋山いも王国の会員十五名はそれぞれ自慢の山いもを出品し重量を競い合いました。

なお、今回は五年間同じ畑を使用したための連作障害の影響が出たためか、重量の落ち込み

が目立ちましたが、来年は新しい場所に植え付け重量を引き上げようと会員で話し合い、来年度に向けての意気込みも十分でした。

村民の皆さん、来年の結果を楽しみにお待ち下さい。

なお、第五回山いもスーブの結果は次のとおり。

一位 喜納正誠(四十七・五キロ)
二位 宮平利信(四十四・五キロ)
三位 伊波栄昌(四十キロ)



▲主催団体による鏡割

新年を村民並びに関係者で共に祝おうと平成十一年村新年祝賀会が一月六日、村コミュニティセンターで開催され会場には、関係者約五百名が訪れ、新年の村の飛躍と発展と関係者の健勝を願い親睦を深めました。

主催者あいさつで村長職務代理者の助役から、「昨年は前村長の出納長就任や新庁舎の建設、安富祖区の当山景子さんの農林水産大臣表彰等がありましたが、今年は博物館建設等様々

な事業を発展的に行政を遂行していきたい。」とあいさつし、役場・議会・漁協・商工会・農協の主催団体長による鏡割も行なわれ、舞台では文化協会による幕開け演奏や主催団体の職員らによる琉球舞踊も披露されました。

その他祝賀会では、漁協の金城重治組合長による万歳三唱で出席者は昨年以上の飛躍を誓い力強く高々と手を振り上げていました。

新春の飛躍を誓い五百名が集う 平成十一年新年祝賀会



▲金城漁協長による万歳三唱



▲役場を訪れ受賞を報告

昨年の十二月二十八日、沖縄県庁で普及事業功績者の農林水産大臣表彰の伝達式が行なわれ、本村から安富祖区の当山景子さんがこれまでの業績が認められ農林水産大臣から表彰されました。

伝達式と同日に村役場を訪れし受賞を村長職務代理者の助役に報告しました。

当山景子さんは、昭和二十四年から現在までの五十年間にわたり農業生産活動に従事するか

たわら集落内の生活研究会長や村普及事業連協生活部長及び会長、北部地区・県生活研究会長と生活研究会活動に尽力をつくり、常に女性リーダーとして社会参画や地域農業の発展に貢献したことが認められ今回の受賞となりました。

また、一月十一日には万座ビーチホテルで当山さんの受賞を関係者で祝おうと祝賀会も盛大に行なわれ、農林水産大臣表彰を共に喜んだ。

おめでとう農林水産大臣表彰 当山景子さんが普及事業功績者表彰



▲これまでの労をねぎらう

平成11・12年度 入札指名参加を受付けます

恩納村では、平成11・12年度に発注する建設工事、測量及び建設コンサルタント、物品、その他入札指名参加の受付けを下記のとおり行います。

記

受付期間：平成11年2月1日～2月26日
(土日祝祭日を除く)
受付時間：午前9時～午後4時30分
受付場所：恩納村建設課

詳しくは村建設課
(☎966-8511) までお問い合わせ下さい。

書類様式については沖縄県、建設省の株式による。

平成10年度分所得税の確定申告 2月16日(火)～3月15日(月)

申請・納付期限の3月5日間近になると、税務署の窓口は大変混雑し長時間お待ちいただくことになりかねません。申告書は自分自身で書いて、できるだけ早めに提出して下さい。申請書は郵送でも提出できます。



知ってますか？ 自動車事故被害者の保護業務【寄託資金貸付制度・介護料支給制度】について

交通遺児等への育成資金の貸付け

自動車事故によって、働き手が亡くなったり、又は重度の後遺障害が残ったりしたために生活にお困りの家族の遺児等の健全な育成を図るため、遺児等を対象に次により育成資金の貸付けを行っております。

◆貸付対象者＝自動車事故により死亡または重度の後遺障害の残った方の子供（0才から中学校卒業までの者）

◆貸付金額＝一時金（1人につき最初だけ）15万2千円、以後付額1万9千円
入学支度金（小・中学校入学時）4万3千円

◆貸付期間＝貸付決定時から中学校卒業まで

◆返済期間＝中学校卒業後の20年以内の均等分割返済（高校・大学等への進学者は、卒業まで返済開始を猶与）

お問合せについては
自動車事故対策センター 沖縄支所

〒900-0016
那覇市前島2-21-13（ふそうビル6F）
TFL (098) 862-8667(代) FAX (098) 862-8668

地域振興券を取り扱う 民間事業者（特定事業者） の募集について

恩納村の発行する地域振興券を取り扱う業者・特定事業者になるためには、応募・登録する必要があります。

《資格》村内で小売業、飲食業、洗濯・理容業、旅館、医療業等の各種サービス業及び運輸通信業者

《募集期間》平成11年2月10日(水)～平成11年2月26日(金)まで

お問い合わせ・応募先
恩納村経済観光課
☎966-8001

火事・救助・救急119 春の火災予防運動3月1日～3月7日



気をつけて
はじめはすべて
小さな火
金武地区消防本部

自動車事故による 重度後遺障害に対する介護料支給

自動車事故により、頭部又は頸髄に損傷を受け、寝たきりの状態で治療及び常時介護を必要とする重度後遺障害者がかかる家族にとって、本人の不幸はもちろんその家族にとって、経済的、心身的に極めて大きな負担となります。これからの家族の負担の軽減を図るため、当センターでは、次により介護料を支給しています。

◆支給条件＝自動車事故により次表に掲げる項目すべてに該当する後遺障害が3ヶ月以上継続し、常時介護を必要とする方で本人又はその生計を維持する者の合計所得が1千万円を越えない者。

◆支給額＝入院介護の場合、1日につき4千円（自宅近親者の介護を受ける者にあつては2千円）

◆支給期間＝申請のあった日から、支給条件に該当しなくなった日まで。

障害の程度	脳損傷による場合	頸髄損傷による場合
イ. 自力移動が不可能である	○	○
ロ. 自力摂食が不可能である	○	○
ハ. 尿尿失禁状態にある	○	○
ニ. 眼球はかろうじて物を追うこともあるが認識できない	○	—
ホ. 声をだしても意味のある発言は全く不可能である	○	—
ヘ. 眼を開け、手を握れというような簡単な命令にはかろうじて応ずることもあるが、それ以上は意志疎通は不可能である	○	—
ト. 人工気管呼吸が必要な状態である	—	○

『地域振興券』 交付事業について

国の緊急経済対策のひとつとして総額約7,000億円にものぼる地域振興券（商品券）の支給が予定されています。

若い親の子育てを支援し、高齢福祉年金受給者や所得の低い高齢者層の経済的負担を軽減し、個人消費の拡大と地域経済の活性化を図り、地域振興を目指します。



3月の交付に向けて準備中です

交付対象者

平成11年1月1日を基準日とし、次の要件のいずれかに該当する方です。

①15歳以下の児童がいる世帯の世帯主

◆住民基本台帳法の規程を受ける住民で基準日における年齢が15歳以下（昭和58年1月1日以降に生まれた者）の子どもがいる世帯主

◆外国人永住者、または特別永住者で基準日における年齢が15歳以下の子どもがいる世帯主

②高齢福祉年金の受給者など〔①の該当者を除く〕

◆基準日において、次に掲げる同月分の年金・手当などの受給者

- ・高齢福祉年金
- ・障害基礎年金、障害年金（一部非課税要件あり）
- ・遺族基礎年金、母子年金、準母子年金、遺児年金（一部非課税要件あり）
- ・児童扶養手当
- ・特別児童扶養手当
- ・特別障害者手当
- ・障害児福祉手当
- ・福祉手当（経過措置分）
- ・原爆被爆者諸手当（医療特別手当、特別手当、健康管理手当、保健手当）



③次のいずれかに該当する者〔①②の該当者を除く〕

- ・生活保護の被保護者
- ・社会福祉施設への措置入所者など

④年齢が65歳以上の者（昭和9年1月1日以前に生まれた者）で、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を必要としている者であつて、平成10年度分の村民税（所得税）非課税の者。〔②③の該当者及び基準日において継続して3ヶ月を越えて病院・老人保健施設に入院・入所している者などを除く〕

⑤年齢65歳以上の者で平成10年度分の村民税非課税の者〔②③④の該当者は除く〕

※本人が、他の方の控除対象配偶者、又は扶養親族となっている場合は、該当地の方の平成10年度分の村民税が非課税要件となります。

事業の主体

市町村が地域振興券を発行します。

交付額

対象者に対して2万円。ただし、①の要件に該当する者は、15歳以下の児童1人につき2万円となります。

地域振興券

○発行主体は市町村です。

○額面1,000円で釣銭は支払われません。

○交付開始日から6ヶ月に限り使用可能です。

○交付された本人及びその代理人・使用者に限り使用可能です。

地域振興券が使える民間事業者 （特定事業者）

特定事業者の営む業種については日常的な小売業、飲食店のほか洗濯・理容業、旅館、医療業等の各種サービス業、運輸・通信業など幅広い業種を対象とします。

特定事業者は村内及び村外（予定）一部より募集し登録します。

地域振興券の申請及び交付

対象者は地域振興券の交付申請を行います。

申請に必要なもの

- 各対象要件を満たすことを証する書面
- 本人を確認できるもの（運転免許書、保険証等）
- 代理人の場合は、委任状その他の代理人権を明らかにする書類

なお、15歳以下の児童が属する世帯の主体主に対しては「地域振興券引換申請書」を郵送しますので、それが必要です。

申請交付は3月下旬を予定しています。